

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	狭山ヶ丘コミュニティセンター施設提供事業	所管	市民経済部 狭山ヶ丘コミュニティセンター Tel 2949-1191
-----	----------------------	----	---------------------------------------

事業の目的 (何の為に 行うか)	文化、レクリエーション、地域活動、ボランティア活動等の場として市民の集団利用に供し、市民の生き甲斐づくり、健康づくり、地域づくりを進める。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象として いるか)	市民による集団利用 (目的外利用の施設提供も有り)	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	49,187	人

活動の内容	(何を したか)	①利用者が直接窓口で利用申請を行う。 ②公共施設利用者カードの交付を受けた団体(登録団体)はロビー端末機、ファックス、インターネット、携帯電話からも利用申請ができる。 ③利用機械の拡大を図るため、利用時間制限(1サークル1ヶ月12時間以内)を設けている。 ④利用に関する理解と利便性を図るため、「申請案内」、「仮申請手順」、「利用サークル一覧表」を作成し希望者に配布している。								
	活動実績	項目名	年間利用可能回数	12420	項目名	年間利用回数	8295	項目名	施設利用人数	49187
			----- 単位 回			----- 単位 回			----- 単位 人	

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	62,055	60,755	71,558	211.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	年間施設稼働率	年間利用回数 ÷ 年間利用可能回数	80	66.8	83.5
			----- 単位 %	----- 単位 %	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]				
		終了	⇒	事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり		増額	減額	終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 [ ]	終了
	予算	現状どおり		増額	減額	終了		

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	事業コード	担当	部課コード	030301	TEL	2949-1191
030301	狭山ヶ丘コミュニティセンター施設提供事業	市民経済部	狭山ヶ丘コミュニティセンター			
開始年度	昭和 59 年度	→	終了年度	平成 年度		

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針				所沢市学習等供用施設条例
	関連・類似事業	各公民館施設提供事業(各公民館) 生涯学習センター施設提供事業(生涯学習センター)			所沢市コミュニティセンター条例
	総合計画の体系	政策	第7章 人々がふれあう温かいまち	施策	1節 地域コミュニティ
		中柱	1 新たな地域コミュニティの構築	小柱	(2)活動拠点と支援体制の整備充実
		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 7 位			・実施計画における位置づけ…H19 ○ H20 ○
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	コード			
	1221	地域コミュニティの拠点整備	コード		
	事業開始の背景	狭山ヶ丘コミュニティセンターは「緑とやすらぎの文化都市」を目指す所沢市のコミュニティ施策の一環として設置され、「老人福祉センター」、「学習等供用施設」「図書館分館」の3つの機能を併せ持ち、施設提供事業は市民による世代を超えた新たな新しいコミュニティづくりの場として昭和59年6月に業務を開始した。			

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	文化、レクリエーション、地域活動、ボランティア活動等の場として市民の集団利用に供し、市民の生き甲斐づくり、健康づくり、地域づくりを進める。			
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方	学習等供用施設の部屋の利用延べ人数		
	市民による集団利用 (目的外利用の施設提供も有り)	対象数	単位	平成 18 年度	337,883 人
				平成 19 年度	339,058 人
	事業の具体的な内容及び実施方法	利用数	単位	平成 18 年度	50,553 人
				平成 19 年度	49,187 人
	①利用者が直接窓口で利用申請を行う。 ②公共施設利用者カードの交付を受けた団体(登録団体)はロビー端末機、ファックス、インターネット、携帯電話からも利用申請ができる。 ③利用機械の拡大を図るため、利用時間制限(1サークル1ヶ月12時間以内)を設けている。 ④利用に関する理解と利便性を図るため、「申請案内」、「仮申請手順」、「利用サークル一覧表」を作成し希望者に配布している。				

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	最終評価	<input checked="" type="checkbox"/> 一次評価	<input type="checkbox"/> 二次評価
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	平成19年度中に改善した点	施設の老朽化に伴い、提供施設の外装工事及び軽微な修繕を行った。		

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		45,766	62,055	46,948
	決算(見込み含む)		33,843	60,755	
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 人 )	( 人 ) ( 人 )		
	正規職員人件費	1.15 人	10,580	1.15 人	10,803
	公債費				
	事業費合計		44,423	71,558	
	財源内訳	一般財源	42,274	69,413	46,948
		国・県支出金			
		受益者負担金	2,127	2,122	
		市債			
	その他	22		23	
	市民一人当たり(単位:円)		131.5	211.0	
	利用数一単位あたり(単位:円)		878.7	1,454.8	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	年間利用可能回数	1日6区分×部屋数×開館日	回	12,420	12,420	12,456
		年間利用回数	年間延べ利用回数	回	8,763	8,295	8,800
		施設利用人数	年間延べ利用人数	人	50,553	49,187	51,000
	成果分析	年間施設稼働率	年間利用回数÷年間利用可能回数	%	目標値 80	80	80
				実績 70.6	66.8		実績値の拡大を図る1
				達成率 88.3	83.5		実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	・利用団体が多く使用希望時間帯及び部屋が競合することが増え、利用者の需要を満たすことが困難な状況が出ている。・インターネット等からの予約が可能に拘らず窓口申請が多く、予約システムの利用率が低い。・施設の老朽化により修繕箇所が多数見受けられる。・利用稼働率が高く、昨今の原油高騰の影響により光熱費がかかる。		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
平成20年度における目標設定	安全で使いやすい施設の提供	老朽化に伴う施設修繕について、予算と共に安全性・必要性を考慮した修繕を行う	平成21年3月	
	施設を利用する側と提供する側のコミュニケーションを図る	利用者説明会及び避難訓練の開催	平成20年4月	
	平成21年度における事業の方向性			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由	立地条件にも恵まれ施設稼働率は高く、地域のコミュニティ活動や学習文化活動など様々な用途で利用され、施設提供事業に対する市民の期待も高くコミュニティ活動の拠点として大きな役割を果たしている。また、高齢化が進むことに伴い施設の需要は、今後益々増大すると予想される。こうしたことを踏まえ引き続き施設を提供する側と利用する側のコミュニケーションを図り利用者と共に安全で効率的な運営に努め事業の充実を図る。		
	評価日	平成20年5月16日	記入者職氏名	狭山ヶ丘コミュニティセンター所長 岩田保男

⑧二次評価	事前評価	部内優先順位… 35 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
			市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
		評価理由	各センターにおける必要な維持管理をしていく上で不可欠であることから「引き続き実施」と評価した。					
		評価日	9月1日					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード			
	基本目標					
	主要課題					
	施策の方向					